

令和元年度 琴浦町事業レビュー 町民評価員事前研修会

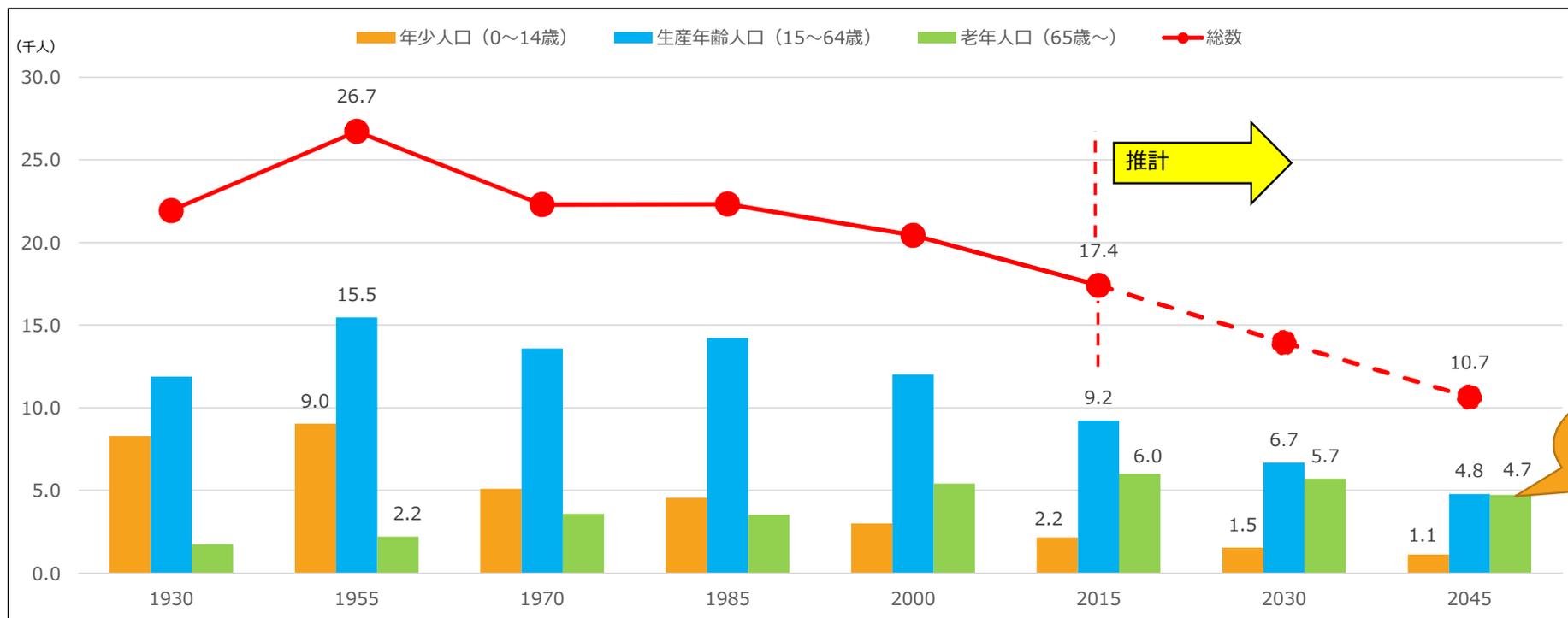
令和元年9月23日（月）秋分の日

琴 浦 町



これからのまち人口は？

これからも人口は減少し、少子高齢化がさらに進みます



出典：国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）

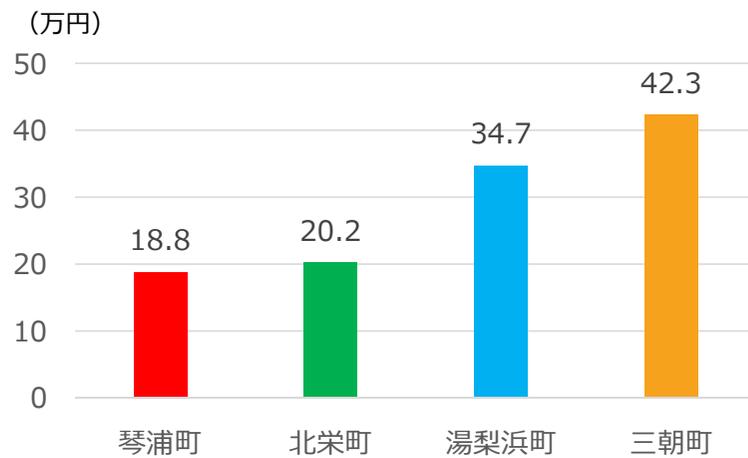
- ❑ 総人口は減少してきました。
- ❑ 年少人口、生産年齢人口は減少し、今後も、減少する見込みです。
- ❑ 老年人口は増加してきました。
- ❑ 2045年には、生産年齢人口と老年人口がほぼ同じになります。



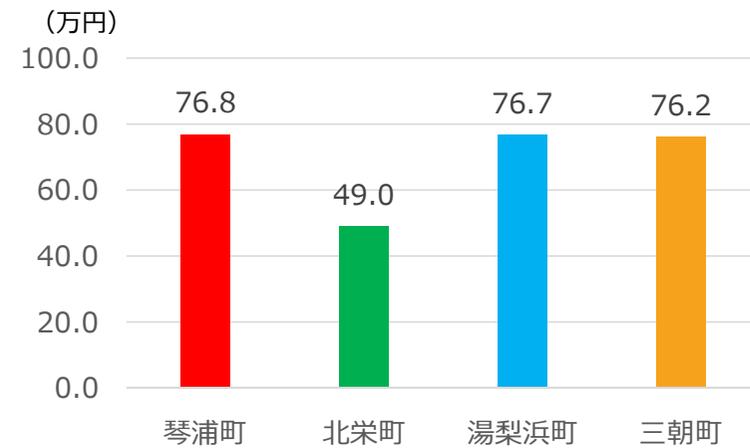
- ❑ 民間企業・役場の職員等の働き手不足
- ❑ 税収・地方交付税の減少
- ❑ 医療費にかかる支出割合の増加 など

現在のまちの財政状況は？

町民一人あたり「貯金」



町民一人あたりの「借金」



※平成30年度決算速報値より

琴浦町の2019年一般会計当初予算

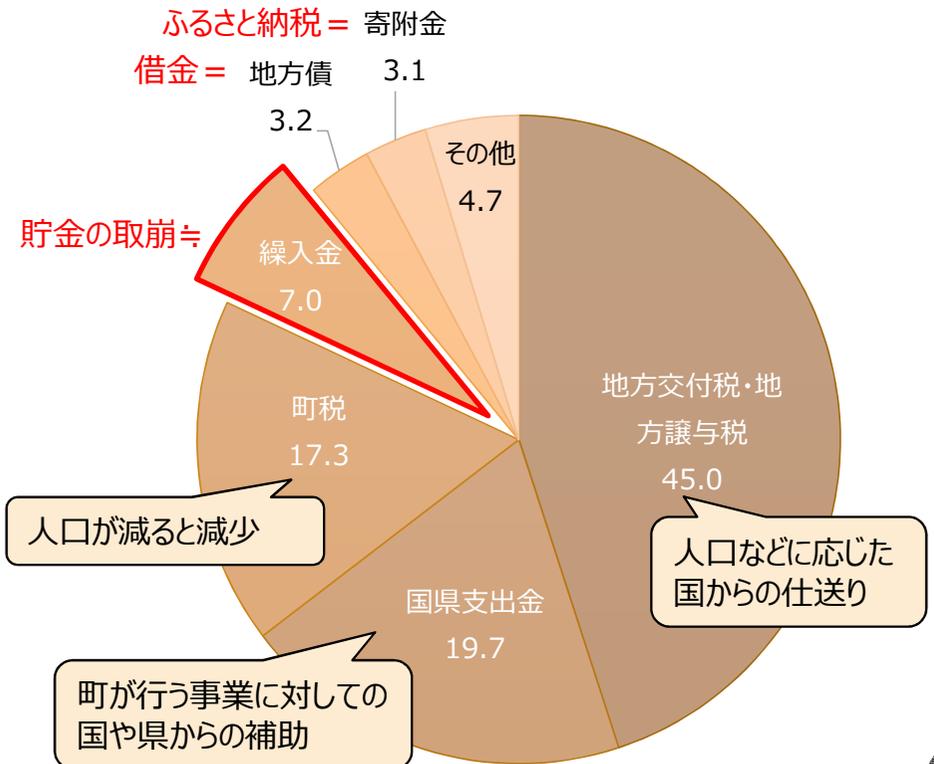
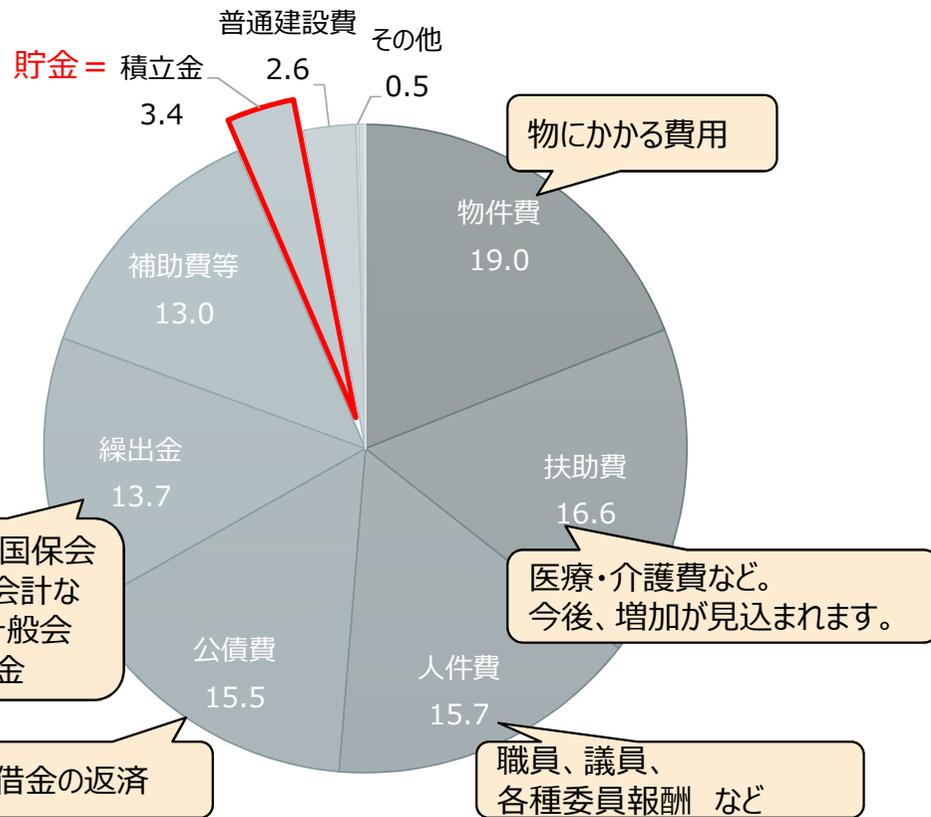
一般会計予算総額：99億500万円

【単位：％】

※2019年度予算は、災害復旧を優先するため、普通建設事業費を抑制

歳出

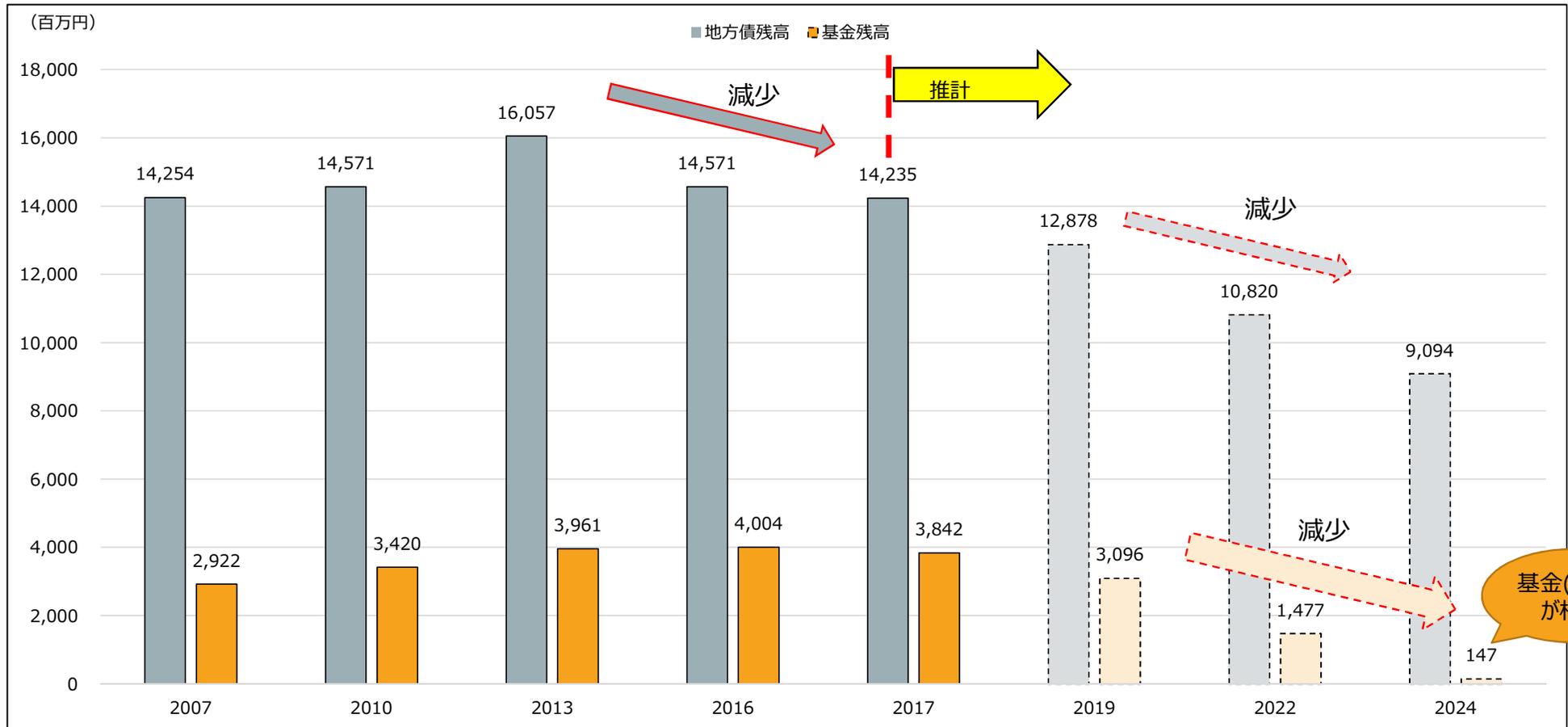
歳入



貯金の取崩 > 貯金 ⇒ 貯金の残高は減少

2019年度当初予算をベースにした今後の財政推計

このまま何も手立てを行わなければ、
 2019年度当初予算をベースに推計を行うと2024年には基金が枯渇し、翌年度以降の予算編成に支障を来す恐れがある。



これからまちが取り組むべきことは？

まちは、持続可能な質の高い住民サービスを行うため、「**行財政改革プラン**」を策定し、実行していきます。

➤ **行財政改革プランの基本方針（案）**

□ 情報共有の徹底（町民との情報共有）

- 税金の用途をわかりやすく説明し、知っていただくとともに、町民のニーズ・意見（評価）をいただき、反映させます。

□ 財政構造改革

- これまでの住民サービスの手法や体制を見直し、効率的・効果的な手法などへ見直します。

□ 行政体制改革

- 民間との連携強化、ICTなどの最新技術の活用などにより、少ない職員でも効率的に事務を行う体制をつくります。

事業レビューでは

◆ 目的

- 行政が税金で行う事業を分かりやすく説明します。
- 町民の皆さんに住民目線で事業を「評価」していただきます。
- いただいた評価をもとに、事業を改善し、より良い住民サービス（事業）を目指します。

◆ 評価者

評価するのは職員ではなく、納税者であり住民サービスを受ける「町民」の皆さんです。

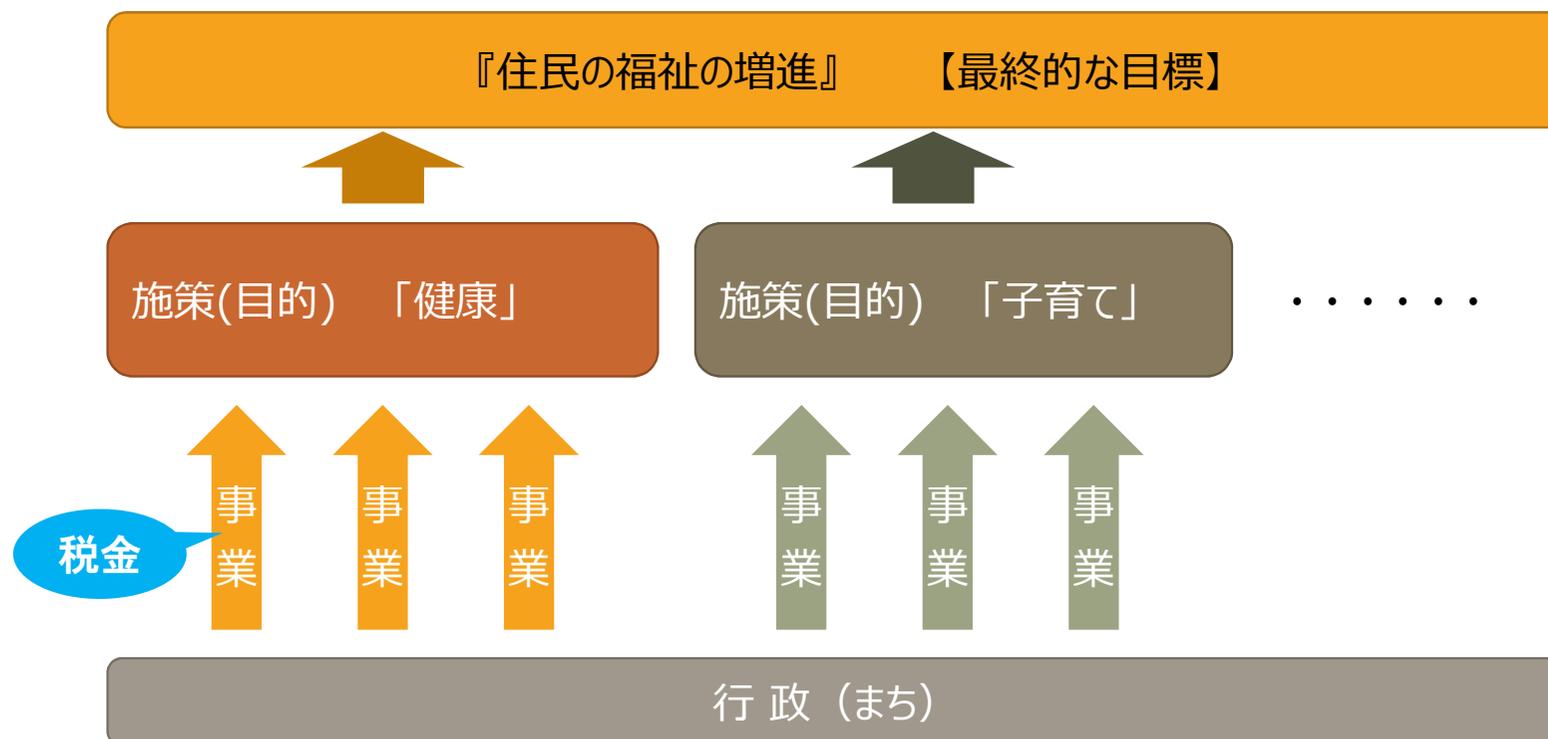
◆ コーディネーター（進行役）・外部有識者の役割

外部の有識者には、町民の皆さんが評価するのに必要な解説や、外部の視点（他のまちの事例など）などを提供していただきます。

⇒ 最終的に評価するのは、町民の皆さんです。

評価する「事業」とは？

- ◆ まち（行政）は、施策の目的を達成するため、具体的な方法・手段として事業を実施しています。
- ◆ 事業は、「税金」を使って、行っています。



事業を良くしていくために必要な「評価」

「しごと」において、「**PDCAサイクル**」が重要と言われており、まちの行う事業でも、この考え方が大切です。「評価」と「改善」を行わなければ、目標は達成できなかったり、達成が遅れます。

